

7月9日（水）

6年道徳研究授業

今年度山口県の指定を受けている「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクト推進の一環として、6年生で保護者参加型の道徳授業研究を行いました。今回の授業は、落語家の春風亭昇太さんが、「人見知り」と「おしゃべり」という短所と向き合い、「人見知り」を克服し、「おしゃべり」な面を生かして落語家として大成されたお話を題材に、「個性の伸長」について考えるものでした。短所は見方を変えれば長所になるという視点から、子どもたちも自分の長所と短所を書き出し、自分だけでは発想の転換が難しいところを、友達や、自分たちのことを小さいころから見守ってくださっている保護者の方の力を借りて、短所を長所に変える活動に挑戦しました。はじめ



昇格の生かす方
自分の生き方につなげる

落語が得意

努力した

逆!

いろいろなどに 対して!

知所も長所に変わった

見方も変わるといえる!

しゃべるのが得意

おしゃべり

人見知り

短所





